

○元帳での仕訳入力時の注意点

仕訳辞書を使わず、自身で適用・金額・科目を入力する場合注意していただきたい点がございます。

例) 肥料を現金で購入した場合

元帳登録

新規追加する仕訳を入力してください。(※は必須)

登録 キャンセル 続けて登録

伝票No. 日付
※伝票No.: 26 ※日付: 1 月 14 日 取引区分: 指定なし

仕訳
仕訳辞書: 取込

摘要
摘要(上段): 肥料購入
摘要(下段):

固定科目 (チェックで修正できます)
勘定科目: 現金 補助科目: 部門: 消費税区分: 不課税

借方
金額: 5,000
消費税金額:
合計: 5,000

貸方
金額: 5,000
消費税金額:
合計: 5,000

相手科目
勘定科目: 現金 ×
補助科目:
部門:
消費税区分: 不課税
消費税率: 10%
消費税処理: 税計算なし/税込
数量: 0.00

付箋1 付箋2 取引データ
メモ

同一日付の先頭へ移動する

摘要を入力後、金額を借方・貸方どちらに入れても両側に金額が入るようになっております。

借方 貸方
本来であれば、肥料費 5,000 / 現金 5,000 と仕訳される。

元帳登録

新規追加する仕訳を入力してください。(※は必須) 登録 キャンセル 続けて登録

📌 伝票No. 日付
 ※伝票No.: 26 ※日付: 1月 14日 取引区分: 指定なし

📌 仕訳
 仕訳辞書: 取込

📌 摘要
 摘要(上段): 肥料購入
 摘要(下段):

固定科目 (チェックで修正できます)
 勘定科目: 現金 補助科目: 部門: 消費税区分: 不課税

<p>📌 借方</p> <table border="0"> <tr><td>金額</td><td>:</td><td><input type="text" value="5,000"/></td></tr> <tr><td>消費税金額</td><td>:</td><td><input type="text"/></td></tr> <tr><td>合計</td><td>:</td><td><input type="text" value="5,000"/></td></tr> </table>	金額	:	<input type="text" value="5,000"/>	消費税金額	:	<input type="text"/>	合計	:	<input type="text" value="5,000"/>	<p>📌 貸方</p> <table border="0"> <tr><td>金額</td><td>:</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr> <tr><td>消費税金額</td><td>:</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr> <tr><td>合計</td><td>:</td><td><input type="text" value="0"/></td></tr> </table>	金額	:	<input type="text" value="0"/>	消費税金額	:	<input type="text" value="0"/>	合計	:	<input type="text" value="0"/>
金額	:	<input type="text" value="5,000"/>																	
消費税金額	:	<input type="text"/>																	
合計	:	<input type="text" value="5,000"/>																	
金額	:	<input type="text" value="0"/>																	
消費税金額	:	<input type="text" value="0"/>																	
合計	:	<input type="text" value="0"/>																	

📌 相手科目
 勘定科目: 肥料費
 補助科目:
 部門: 経理部 ×
 消費税区分: 課税仕入
 消費税率: 10%
 消費税処理: 税計算なし/税込
 数量: 0.00

付箋1 付箋2 取引データ
 メモ

同一日付の先頭へ移動する

次に、金額入力後、相手科目を選択すると貸方の金額が消え、借方に金額が残る状態になってしまいます。

この状態で登録してしまいますと、仕訳が逆の状態に登録されてしまいます。ソリマチの仕様上このようになっております。

対処法といたしましては、仕訳辞書を使っていただくもしくは相手科目の勘定科目を入力してから金額を入れていただく方法どちらかで対応いただければと思います。